

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月31日

計画の名称	未来へつなぐ安全・安心の新見水環境づくり（防災・安全）															
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	新見市															
計画の目標	長期的な長寿命化対策を実施し、安全・安心、快適な生活を未来へつなぐ。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		1,250	A	1,250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	ストックマネジメント計画策定率を0％（R3）から100％（R7）へ増加させる。			
	ストックマネジメント計画策定率	0%	100%	100%
	ストックマネジメント計画策定済箇所（箇所）／ストックマネジメント計画を策定する箇所（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	新見市	直接	-	-	改築	老朽化対策事業（全処理区）	ストックマネジメント計画策定	新見市	■	■				70		-
	A07-002	下水道	一般	新見市	直接	-	管渠（汚水）	改築	老朽化対策事業（全処理区）	長寿命化対策 点検・調査等（管渠・MP・MH等）	新見市	■	■	■	■	■	95		-
		ストックマネジメント計画																	
	A07-003	下水道	一般	新見市	直接	-	管渠（汚水）	改築	老朽化対策事業（全処理区）	長寿命化対策（MP・MH蓋更新等）	新見市	■	■	■	■	■	290		-
		ストックマネジメント計画																	
	A07-004	下水道	一般	新見市	直接	-	終末処理場	改築	老朽化対策事業（哲西浄化センター）	長寿命化 調査・設計等	新見市			■	■		15		-
		ストックマネジメント計画																	
	A07-005	下水道	一般	新見市	直接	-	終末処理場	改築	老朽化対策事業（哲西浄化センター）	長寿命化対策（水処理設備・機械設備等更新）	新見市				■	■	300		-
		ストックマネジメント計画																	
	A07-006	下水道	一般	新見市	直接	-	終末処理場	改築	老朽化対策事業（新見浄化センター）	長寿命化 調査・設計等	新見市			■	■	■	30		-
		ストックマネジメント計画																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R03R04R05R06R07																	
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	新見市	直接	-	終末処 理場	改築	老朽化対策事業（新見浄 化センター）	長寿命化対策（水処理設備・ 機械設備・中央監視設備等）	新見市				■	■	450		-
		ストックマネジメント計画																	
											小計						1,250		
											合計						1,250		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 新見市建設部下水道課で実施する。	事後評価の実施時期 R8年3月 公表の方法 新見市のホームページに掲載
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメント計画に基づき、処理場・管路施設の計画的かつ効率的な老朽化対策を実施したことにより、安全・安心・快適な生活環境の実現が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き、ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的な老朽化対策を実施し、安全・安心・快適な生活環境の実現を図る。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	ストックマネジメント計画策定済箇所（箇所） / スtockマネジメント計画を策定する箇所（箇所）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	